

平成23年4月28日

### 参加艇各位

ヨットシーズン幕開けの春本番となりました。又5月連休も近くなりレースにクルージングにと思いはせておられる事と思います。

先日は第36回舵杯参加有難うございました。今回は東日本の災害で各地のイベントが中止となり、36回舵杯も現地スタッフはどうしようかと悩みました。しかし全員が暗くなつては駄目と思い元気が出せる地区は元気を出してイベントを実施して、気持ちを明るく前向きに持ち東日本の災害復興を応援しようという結論に達し実施させて頂きました。

今回は幾分風が強く当日は12m前後吹いていたと思います。日頃の練習されている艇はスタートからスピンを展開され又自信の無い艇はスピン無しで走られていました。

コースは島周りとさせて頂きましたが9時スタートで11時30分には全艇ゴールしあつという間に終わった感があります。

前夜祭には小雨が降りながらも約120名程度の参加をいただきました。生バンドの演奏 花火等いかがでしたでしょうか、今回は前夜祭の仕方を多少変えて実施しました。いかがでしたでしょうか？当地の名物 笠岡ラーメン 高島のかきのお味はどうでしたでしょうか？

今後7月実施の市長杯ヨットレースに向けてスタッフ一同準備してまいりたいと思っています。

笠岡諸島 白石島に来られる時は声をかけて頂ければ大歓迎でお迎え致します。

第36回舵杯ヨットレース実行委員会

藤原哲雄

4月26日山陽新聞朝刊

春の瀬戸内海を疾走するヨット

クルーザー型ヨットで西日本最大級の第36回舵杯ヨットレース(SAF)が、山口県笠岡市で24日、笠岡市の笠岡諸島周辺で開かれた。中四国、近畿地方などから必艇が参加し、春の瀬戸内海を疾走した。白鳥屋を運営する北木辰、真鍋島の沖合を走る約24のコース。参加者はクラブに分かれ、船の性能による「アンテキヤップ」の所要時間で順位を競った。この日は風速6~8m/sと絶好のレース日和。選手は巧みに帆を調節して風を捉え、白熱したレースを展開した。同レースが笠岡市中で開かれるのは昨年に続き2回目。成績は次の通り。

笠岡・舵杯ヨット  
42艇 風受け疾走

を調節して風を捉え、白熱したレースを展開した。同レースが笠岡市中で開かれるのは昨年に続き2回目。成績は次の通り。

クラブハンデキャップレース  
①URAN (愛媛県新居浜市) ②CARIBBEII (高松市) ③VOYAGER 5 (福山市) ④Vクラッシュ クラス ⑤セタン(笠岡市) ⑥BONANZA X (福山市) ⑦FRONTIER Jr2 (岡山市) (金原正明)

海に山に 白熱レース



前夜祭開会式



泊地 (白石島東新港)